

赤れんが博物館 戦後70年企画展 戦前戦後を歩む 赤れんが

戦前、日本各地で多くのれんがが建造物が造られました。それらの建造物は1945年(昭和20年)の終戦から現在までに、解体・放置・転活用と異なる歩みをたどってきました。今回の企画展では、戦後70年という節目を迎え、戦争で使われた、また被災したれんがが建造物の今と昔の姿を実際に使用されていたれんがとともに紹介します。

【日時】8月1日(土)～11月30日(月)まで、9時～17時(入館は16時30分まで)

【場所】赤れんが博物館

【内容】広島県産業奨励館(現原爆ドーム)や金沢陸軍兵器支廠兵器庫(現石川県立歴史博物館)のれんがなどを展示。

【入場料】300円、学生150円(市内在住か在校の学生は無料)

【問い合わせ先】赤れんが博物館
(☎66・1095)



▲友ヶ島(和歌山県)に残る明治期の砲台跡



金沢陸軍兵器支廠兵器庫(現石川県立歴史博物館)のれんが(左)
広島県産業奨励館(現原爆ドーム)のれんが(右)



1 明確さ、質感、描く力等が高いと思いました。今後大作に挑戦し、新たな自己空間の発見の場を設けて欲しいと思います。
(審査員：高田光治)



5 端正な形に施した象嵌による條線の流れと、濃茶から黒へと変化する色彩が共鳴し合い作品に力を与えています。
(審査員：小林英夫)

舞鶴市展 入賞作品決まる

6月17日～21日に第47回舞鶴市展を開催。5部門で計311作品が展示されました。

各部門の市展賞5点をはじめ、特選11点、奨励賞18点、委嘱作家賞3点、U-22審査員賞2点が選ばれました。
▼詳しくは、社会教育課(☎66・1073)へ。

市展賞

- ◇洋画
 - 1 「TSUI-OKU 追憶」(50号) 平尾博美さん(79歳、丹波市) 写真①
 - ◇日本画
 - 2 「野辺の唄」(50号) 林昌子さん(69歳、朝来中) 写真②
 - ◇書
 - 3 「前田普羅の句」(120号×90号) 高橋翠城さん(70歳、綾部市) 写真③
 - ◇写真
 - 4 「引き潮」(65号×49号) 小倉正紀さん(73歳、宮津市) 写真④
 - ◇工芸美術
 - 5 「鳥糞つ」(43号×38号×22号) 佐織保男さん(81歳、下東) 写真⑤

黙とうを 捧げましょう

原爆投下の日・
終戦記念日



今から70年前の8月6日に広島市、9日には長崎市に原子爆弾が投下され、一瞬にして多くの尊い人命が失われました。また、8月15日は終戦記念日です。市では、戦後13年にわたって海外からの引き揚げに大きく関わり、昭和45年には引揚記念公園を、また同63年には引揚記念館を建設し、戦争による悲劇を繰り返さないよう平和への願いを発信し続けています。

犠牲者の冥福と全世界の恒久平和を祈り、誓いを新たにするため、次の日時に黙とうを捧げましょう。《福祉企画課》

【原爆投下の日】

- ◇広島市…8月6日(木)8時15分
- ◇長崎市…8月9日(日)11時2分

【終戦記念日】

8月15日(土)正午

ARTでEAT 親子で楽しむはじめてのART



「まいづるを食べること」をアートにして楽しむ全3回のワークショップを実施。市内の農家や魚屋さんの話を聞いたり、食器を作ったり、絵を描いたりして本物の舞鶴をお腹と心で体感します。

初回は、市内在住で陶芸家の高井晴美さんの指導で「マイうつわ」を作製。ぜひご参加ください。

【日時・内容】

- ◇8月22日(土)①(10時～12時)、②(13時30分～15時30分)
…うつわをつくらう(※①②のどちらか)
- ◇10月2日(金)10時～12時
…旬をたのしもう(万願寺甘とう・ブドウ)
- ◇11月4日(水)10時～12時…旬をたのしもう(さかなの干物・大浦みかん)

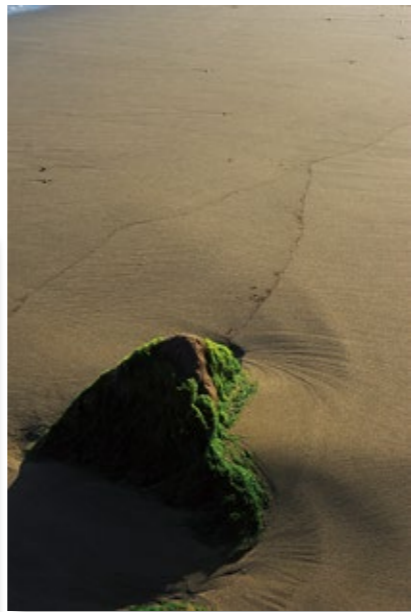
【場所】城南会館

【対象】市内在住の未就学児とその保護者

【定員】先着20組

【料金】1組2,000円

【申し込み方法】8月16日(日)までに電話かファクス、電子メール(info@mai-bunka.jp)で総合文化会館・文化の仕掛人(☎64・0880、Fax62・4867)へ。



4 画面の半分以上が何も無い砂で構成されていて無駄な空間とも思える構図の中にまるで蒼生したような岩が大きく影を落としているのがとても印象的な作品です。
(審査員：柴田明蘭)



3 淡墨ぎみの線での大字が風景を呼び起こします。句の雪と春との折りなす微妙な季節感を小字との調和でうまく表せています。
(審査員：原田凍谷)



2 生き生きとした緑で描かれた作品です。緑の色の変化に富み、岩絵具の発色も良く、生命感を感じます。
(審査員：中出信昭)